

大商大史上初

リーグ戦4季連続



全日本ベスト16



関西六大学野球連盟春季リーグ戦
4月1日～5月21日 皇子山総合運動公園野球場他

順位	チーム	勝	敗	分	打	守	差
1	大商大	10	1	2	10	1	+9
2	天理大	7	3	0	10	2	+5
3	徳山大	6	2	2	10	3	+1
4	京大	4	3	3	10	3	0
5	東大	3	4	3	10	4	-1
6	阪大	3	4	3	10	4	-1
7	神大	2	5	3	10	5	-3
8	東工大	2	5	3	10	5	-3
9	京産大	2	5	3	10	5	-3
10	東海大	2	5	3	10	5	-3
11	東洋大	2	5	3	10	5	-3
12	東海大	2	5	3	10	5	-3
13	東海大	2	5	3	10	5	-3
14	東海大	2	5	3	10	5	-3
15	東海大	2	5	3	10	5	-3
16	東海大	2	5	3	10	5	-3
17	東海大	2	5	3	10	5	-3
18	東海大	2	5	3	10	5	-3
19	東海大	2	5	3	10	5	-3
20	東海大	2	5	3	10	5	-3
21	東海大	2	5	3	10	5	-3
22	東海大	2	5	3	10	5	-3

硬式野球部
春季リーグ戦で創部初の4連覇を成し遂げた大商大は、しかも関六王者に輝いた。2年連続9回目の出場となる全日本大学野球選手権では、昨年敗れた天理大学にリベンジを果たす。しかし、続く2回戦で敗れ今年もベスト16で幕を閉じた。秋こそは神宮の舞台で大商大の底力を指して突き進め!

第67回全日本大学野球選手権大会
6月11日～17日 東京ドーム・明治神宮野球場

リーグ戦優勝により全日本大学野球選手権へ2年連続9回目の出場を決めた大商大。初戦の相手は昨年の2回戦で敗北を喫した天理大学に決まった。今年こそはトリベンジに燃える大商大は、天理大を攻略するために練習を積み重ねたという。

vs 天理大

初戦を突破した大商大の2回戦の相手は、中国地区大学野球連盟代表の徳山大学。投手戦となったこの試合で待望の先制点を手にしたのは徳山大だった。4回裏2死2塁の場面で先発の尾田恭平(商4・智辯学園)がボールをこられランナーを3塁に進められると、適時打により1点を奪われた。しかし、直後の5回表に福元悠真(商1・智辯学園)が変化球をうまく捉え出塁すると、工遼汰(公共経営3・広陵)の二遊間を破る適時打で同点に追い付いた。

その後は両者譲らず1-1のまま9回が終了し、タイブレークに突入したが、こども大商大は相手投手を捉えることができず、迎えた11回裏の徳山大の攻撃。先頭打者の空振り飛び出した2塁ランナーに捕手太田がショートへ送球したがこれが悪送球となり2塁ランナーが一気にホームを突いて生還。まさかの展開でサヨナラ負けとなった。

vs 徳山大

初戦を突破した大商大の2回戦の相手は、中国地区大学野球連盟代表の徳山大学。投手戦となったこの試合で待望の先制点を手にしたのは徳山大だった。4回裏2死2塁の場面で先発の尾田恭平(商4・智辯学園)がボールをこられランナーを3塁に進められると、適時打により1点を奪われた。しかし、直後の5回表に福元悠真(商1・智辯学園)が変化球をうまく捉え出塁すると、工遼汰(公共経営3・広陵)の二遊間を破る適時打で同点に追い付いた。

太田は「全国制覇は難しいことだと実感したが、次に生かせる経験がたくさんできた。また一から頑張っていくぞ」と力強く秋に向けての抱負を語ってくれた。

4連覇

関西六大学野球春季リーグ戦、昨秋に創部初の10戦全勝で完全優勝を果たした大商大。初戦の相手は大阪経済大学だった。第1戦、この試合に勝利し流れをつかみたい大商大だったが、延長14回タイブレークの末に敗れてしまった。続く第2戦ではサヨナラ勝ちを収めるも、第3戦は延長で敗れ、まさかの黒星発進となった。

vs 徳山大

初戦を突破した大商大の2回戦の相手は、中国地区大学野球連盟代表の徳山大学。投手戦となったこの試合で待望の先制点を手にしたのは徳山大だった。4回裏2死2塁の場面で先発の尾田恭平(商4・智辯学園)がボールをこられランナーを3塁に進められると、適時打により1点を奪われた。しかし、直後の5回表に福元悠真(商1・智辯学園)が変化球をうまく捉え出塁すると、工遼汰(公共経営3・広陵)の二遊間を破る適時打で同点に追い付いた。

第21号	
4面	1面
ウエイトリフティング部	硬式野球部
標準式野球部	
3面	2面
空手道部	サッカー部
合気道部	ボクシング部
ウエイトリフティング部	ソフトテニス部
水上競技部	バレーボール部
	卓球部
	他



MVP

学生記者イチ押し 小野寺選手

今季、大活躍した小野寺 暖選手(商3・京都翔英)そんな彼の活躍の裏側に迫りました。

Q:力を入れてきた練習は?
A:重たいバットでのスイング練習

Q:自分の持ち味は?
A:チャンスに強いこと

Q:試合前に必ず行っていることは?
A:早起きをして早朝にバッティング練習をしている

Q:憧れの選手は?
A:去年卒業した日下部先輩と榎本先輩

Q:これからの目標は?
A:秋こそは全日本選手権のリベンジを果たす

結果を出すためには、努力を惜しまない小野寺選手。そんな彼の活躍に今後も注目です!

学生記者の
勝手に MVP

「関西六大学野球春季リーグ戦」

優勝(4季連続13回目(旧リーグを含めると17回目))
最優秀選手賞 小野寺 暖(商3・京都翔英)
最優秀投手賞 大西 広樹(公共経営3・大商大)
首位打者 太田 光(公共経営4・広陵)
ベストナイン(投手) 大西 広樹(公共経営3・大商大)
ベストナイン(捕手) 太田 光(公共経営4・広陵)
ベストナイン(一塁手) 植田 匡哉(経済3・汎愛)
ベストナイン(外野手) 小野寺 暖(商3・京都翔英)
ベストナイン(外野手) 植田 勝至(公共経営4・興國)
担当記者クラブ賞 太田 光(公共経営4・広陵)
特別賞 植田 勝至(公共経営4・興國)

「第67回全日本大学野球選手権大会」 ベスト16

「第25回大学野球関西オールスター5リーグ対抗戦」
準優勝 関西六大学野球連盟選抜チーム
敢闘賞 橋本 侑樹(公共経営3・大垣日本大)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

春季リーグ戦 2018

一拳プレイバック

昇格への望み残す



第96回関西学生サッカーリーグ(前期)
4月8日~6月10日 大商大第1グラウンド他

2部Aリーグ前期
5位

<6勝4敗1分>

サッカー部

第96回関西学生サッカー2部Aリーグ前期、大商大は開幕2連勝を収めた。そのまま連勝を続けた大商大だったが、第3節の神戸学院大学戦で先制点を許してしまう。すぐに1点を返して同点に追い付いた大商大だったが、相手の攻撃を抑えることができず、さらに2点を奪われ1-3で敗北する。

続く第4節の大阪産業大学戦では、前半を0-1とスコアレスで折り返すも後半に2点を奪われた。試合終了間際のロスタイムに1点を返すも、反撃はこぼれ、1-2と大商大はこの試合でも勝ち切ることができず、手痛い2連敗を喫した。

その後はなんとか立て直し連敗を止めた大商大。しかし、勝ちたい試合で思うように勝ち星を上げることができず、結果は6勝4敗1分で5位と順位が伸び悩んだ。この結果に主将の下川悠也(公共経営4)が希望が丘は今は5位とあまりいい順位ではないが、後期には得点力を付けて上位に浮上したい。と語った。

前期終了時点では入替戦出場圏外となった大商大。しかし、まだ1部への昇格の道は閉ざされていない。後期こそは上位を目指し、念願の1部昇格を成し遂げたい。と語った。

文/安井詩織
(公共1・北摂三田)

ソフトテニス部

2日間にわたって行われた関西学生ソフトテニス春季リーグ戦男子2部。昨秋に優勝を果たすも入替戦に敗れ、1部昇格を逃した大商大は、今季こそはと意気込んだ。無敗で迎えた2日目の近畿大学との第4試合。この日は風が強く、思うようなプレーができず、結果は2-3と惜しくも敗れてしまった。続く天理大学との第5試合でも2-3と僅差で敗れ、結果は3位に終わった。

悔しそうな表情を見せる選手たちだったが、この悔しさを糧にして、秋季リーグこそは本懐を遂げてくれるだろう。

文/大崎恒太郎
(公共経営2・大商大堺)

ボクシング部

関西学生ボクシングリーグ戦1部、大商大は初戦で同志社大学に僅差で敗れ、黒星発進となった。しかし次戦では関西学院大学に大差で勝利し、自信を取り戻す。

そんな中で迎えた強豪の近畿大学との対戦。今リーグ戦で階級賞を受賞した、バンタム級の池側(純公共経営3)・興國(勝利する)など、好勝負を演じるも3-6で敗北を喫した。次戦でも戸屋(文)・東口(瑠泉)・和歌山(商業)に敗れた大商大は、最終



第72回関西学生ボクシングリーグ戦
5月6日~6月24日 関西大学凱風館ボクシング場他

次こそ打ち破れ

4位
リーグ戦1部
<2勝3敗>



関西学生ソフトテニス春季リーグ戦
5月3日・4日 マリンテニスパーク・北村

惜敗続く

春季リーグ戦
男子2部
3位
<3勝2敗>

バレーボール部

昨年、春季リーグ戦で優勝を果たしたが、秋季リーグ戦で4位と連覇を逃した大商大。今年こそは春秋連覇を目指したが、初戦からベースをつかめず、結果は9位に終わった。3勝7敗で迎えた最終戦では、今季2位の大阪産業大学を相手に昨年王者の意地を見せ、激しいラリーの末に3-1で勝利した。しかし、これまでの敗戦が響き、今季は下位に留まった。

新体制となり初めてのリーグ戦では思い描く結果とならなかったが、来季こそは大商大の実力を見せつけ、王座を奪還してほしい。

文/金城南美
(経営4・那覇商業)



関西学生卓球春季リーグ戦
4月28日~5月19日 近畿大学記念会館他

男子2部
6位
春季リーグ戦
1勝4敗

卓球部

序盤から苦戦を強いられた関西学生卓球春季リーグ戦男子2部。第4試合、ここまで勝ち星のない大商大は、大阪大学との最下位決定戦に挑むことになった。

今季シングルスで全勝を収めた主将・和田将人(公共経営4)・杜若(粘りのプレー)を見せ勝利する

文/金城南美
(経営4・那覇商業)



関西大学バレーボール連盟男子春季リーグ戦
4月8日~5月20日 大商大総合体育館アリーナ他

下位に沈む

春季リーグ戦
男子1部
9位
4勝7敗

ボウリング部

第57回関西学生ボウリング春季リーグ戦、昨春に最下位となった大商大への浮上を目指し、順位を上げた。

文/大崎恒太郎
(公共経営2・大商大堺)



関西学生ホッケー春季リーグ
4月8日~7月8日 関西学院大学三田グラウンド他

男子3部
4位
春季リーグ戦
1勝3敗

フィールドホッケー部

近畿大学のホッケーサークルと合同チームでの出場となった関西学生ホッケー春季リーグ男子3部。大商大は第2戦で神戸外国語大学に1-0で勝利したものの、最

文/白石雄輝
(経済1・星翔)

その他のクラブリーグ戦結果

- 硬式野球部は、1面掲載
- 準硬式野球部は、4面掲載

Twitterアカウントフォローしてね
大阪商業大学体育会本部
@Taikukaihonbu

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

第56回西日本大学空手道選手権大会
5月20日 沖縄県立武道館



西日本 男子団体組手

一歩及ばずベスト8

5月に沖縄県立武道館にて行われた西日本大学空手道選手権大会において、大商大空手道部は男子団体組手でベスト8の成績を収めた。

1回戦シードでの出場となった大商大の2回戦は福岡大学との対戦となった。1回戦を勝ち上がり勢いづいている福岡大に対し、この試合が今大会での最初の試合となる大商大は苦戦を強いられ、力点を発揮して3-2で勝利した。続く3回戦では桃山学院大学を相手に3-0と危なげなく勝ち上がり、準々決勝で...

この敗戦で相手に流れを奪われた大商大はその後も敗れてしまふ。この敗戦で相手に流れを奪われた大商大はその後も敗れてしまふ。この敗戦で相手に流れを奪われた大商大はその後も敗れてしまふ。

主将の松崎大貴(経営4・大阪学芸)は、あと一歩、勢いに乗りきることができなかったと悔しが離せない。後、中堅戦、副将戦にも敗れ1-3で準々決勝敗退。結果はベスト8で幕を閉じた。



新山

第52回関西学生空手道個人選手権大会
4月29日 兵庫県立総合体育館

空手道部

勝へと駒を進めた。そして準々決勝、今大会の優勝校である近畿大学工学部との対戦で、先鋒の山下大幹(経済3・浪速)が魅せた。持ち味の素早い動きで攻め込み、相手を圧倒する。そしてポイントを重ね、見事に先鋒戦を勝ち取った。続く次鋒戦では、副将・溝口誠(公共経営4・東大阪大柏原)が激戦を繰り広げた。両者一歩も引かず攻撃を繰り返した。ポイントを奪い合う。手に汗を握る展開となったが、あと一歩及ばずこの接戦に惜しくも敗れてしまふ。

関西学生 4位

「第38回関西学生合気道競技大会」

乱取競技男子団体戦	1回戦敗退	寺田 晃平(経営4・秀岳館)
乱取競技男子個人戦	2回戦敗退	鯛 航貴(経営4・大江)
演武競技男子対徒手の部	1回戦敗退	高松 祥平(経営3・大商大)
演武競技男子対武器の部	予選敗退	寺田 晃平(経営4・秀岳館)・山本 広大(経済2・東立和歌山)
	4位	高松 祥平(経営3・大商大)・鯛 航貴(経営4・大江)

悔しさ残る



寺田

山本

演武競技男子対武器の部

関西学生合気道競技大会の演武競技男子対武器の部で、寺田晃平(経営4・秀岳館)と山本広大(経済2・東立和歌山)が4位の成績を収めた。技の正確さや美しさを競う演武競技で、2人は迫力のある演技を見せて予選を2位通過し、本戦はシードでの出場となった。

しかし準決勝の天理大学との試合では、ミスなく演技を終えるも敗れ、決勝進出を逃した。そして悔しさは彼らをさらに飛躍させるだろう。文/大崎恒太郎(公共経営2・大商大堺)

関西学生空手道個人選手権大会の形競技に大商大から新山美紗都(公共1・鹿角島工業)が出場した。形競技とは攻撃と防御を一連の流れとして組み合わせた演武であり、採点により勝敗が決まる。今回は惜しくも予選敗退となったが、今後の活躍に注目したい。文/太田陸生(経済4・高松東)

「第52回関西学生空手道個人選手権大会」

男子組手-60kg級	ベスト8	入江 大地(公共経営2・関新)
男子組手-67kg級	ベスト8	山下 大幹(経済3・浪速)
男子組手-67kg級	予選敗退	大井 翔伍(高3・洛陽総合)
女子形	予選敗退	新山 美紗都(公共1・鹿角島工業)

「第56回西日本大学空手道選手権大会」

男子団体組手	ベスト8
--------	------

「第62回全日本学生空手道選手権大会」

男子個人組手	ベスト8	山下 大幹(経済3・浪速)
男子個人組手	1回戦敗退	溝口 誠(公共経営4・東大阪大柏原)

て、3位決定戦の関西学院大学戦では、準決勝での負けを引きずりミスを重ね敗北。結果は4位に終わった。

ウエイトリフティング部



クラブ生の筋肉事情



水上競技部

1 体幹です。また、平泳ぎでは大胸筋、クローリングでは広背筋、背泳ぎでは腹筋など、種目によって重要となる筋肉が異なってきます。2 週に4回から5回ほど行っています。3 上腕二頭筋！4 現在は3部とあまり良い成績を残せていないので、今年こそは2部に昇格することです。

スポーツには欠かすことのできない筋肉。今回はクラブ生の筋肉事情を徹底調査しました。

1 競技に必要な筋肉は？ 2 筋トレの頻度は？
3 自慢の筋肉は？ 4 最後に今年の目標は？

文/長岡篤志(経済2・富島)・横山舞(経営1・和歌山商業)

その他のクラブ主な大会結果 (2018年4月1日~7月10日)

- ◆アメリカンフットボール部
「第64回西日本学生アメリカンフットボール大会(6人制)」5-21
大阪商業大・帝塚山大・大阪経済法科大・大阪芸術大 vs 京都学園大・京都外国語大・大谷大・吉備国際大
- ◆剣道部
「第49回大阪学生剣道新人大会」
男子団体 2回戦敗退
「第9回大阪女子学生剣道新人大会」
2回戦敗退 氏原 咲音(経済1)
- ◆硬式庭球部
「関西学生春季テニス選手権大会兼第73回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会予選会」
男子ダブルス 2回戦敗退 松本 海斗(経済3)・下野間 優作(経営3)
女子ダブルス 2回戦敗退 吉村 実久(公共経営4)・神尾 有咲(商2)
- ◆サッカー部
「第47回関西学生サッカー選手権大会兼第42回総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会予選会」
ベスト16

- ◆柔道部
「第50回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会大阪府予選会」
男子66kg級 ベスト4 平田 来拓(公共経営2)
- 「第68回関西学生柔道優勝大会」
男子団体1部 Bトーナメント ベスト8
- ◆水上競技部
「第6回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会」
男子100m背泳ぎ 予選75位 高石 蒼(経営2)
男子200mバタフライ 予選53位 引口 友貴(経済4)
男子400mメドレーリレー タイム決勝25位
栄田 達希(経営1)・元道 憲伸(経営2)・梶本 優希(経営2)・中江 将希(経営1)
女子200m平泳ぎ 予選24位 阿守 紗苗(公共1)
- ◆ソフトテニス部
「関西学生ソフトテニス選手権大会兼第73回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会予選会」
男子の部
5回戦敗退 三崎 聖矢(公共経営3)・小笹 景太郎(経済4)
5回戦敗退 西川 裕介(経済3)・森本 健太(経営4)
- 「西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」
男子の部 一回戦敗退
- 「西日本学生ソフトテニス選手権大会」
男子の部
ベスト8 三崎 聖矢(公共経営3)・小笹 景太郎(経済4)

- ◆少林寺拳法部
「第56回少林寺拳法関西学生大会」
自由組演武茶帯の部
予選4コート14位 喜多 亮月(経済3)・逸崎 勇太(商3)
- ◆卓球部
「第88回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)関西予選」
男子トーナメント 1回戦敗退
- 「第87回関西学生卓球選手権大会」
男子シングルス
3回戦敗退 芝本 周一郎(商2)
男子ダブルス
3回戦敗退 中嶋 文哉(商3)・メンドーサセント(経営2)
- ◆日本拳法部
「第22回西日本学生拳法選手権大会」
男子団体1部 予選リーグ敗退
- 「日本拳法第31回全国大会選抜選手権大会」
男子団体 ベスト8
- ◆バスケットボール部
「第45回関西学生バスケットボール選手権大会」
ベスト16
- 「男子第68回西日本学生バスケットボール選手権大会」
3回戦敗退
- ◆バレーボール部
「第44回西日本バレーボール大学男子選手権大会」
決勝トーナメント 2回戦敗退
- ◆ボクシング部
「大阪府民体育大会兼第73回国民体育大会大阪府選考会」
成年男子ライトフライ級 優勝 藤田 龍馬(公共1)
成年男子バンタム級 優勝 池側 純(公共経営3)
成年男子ライト級 準優勝 山原 武人(公共1)
成年男子ライトウェルター級 準優勝 齊藤 翔太(公共経営2)
- ◆ライフル射撃部
「第65回春季全関西学生ライフル射撃選手権大会」
10mS60M 64位 林 志剛(経営2)
- ◆陸上競技部
「第95回関西学生陸上競技対校選手権大会(トラック&フィールドの部)」
男子2部200m 予選4組5位 舘見 元輝(経済2)
男子2部走幅跳 決勝22位 大河 晃基(経済4)
女子100mH 予選3組7位 今村 未佳(商3)
男子2部4×100mリレー 予選4組5位
西中 隆斗(経営3)・北村 嘉洋(経済2)・松本 佳樹(公共経営4)・植田 司朗(公共経営4)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

ウエイトリフティング部



全日本学生V

リベンジ果たす

4月に行われた全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会で、東野凌大(公共経営3・徳島科学技術)が、56kg級で悲願の優勝を果たした。昨年度の同大会では僅差で優勝を逃し、悔しい結果に終わった東野は、去年の忘れ物を取りに来た。今年こそは絶対に優勝すると意気込み、大会に挑んだという。

スナッチ競技では一本目で100kgを難なく差し上げると、続く2本目に104kgを申告する。昨年にも失敗をして、苦汁をなめた103kgを超える重量だ。しかし、今年の東野は違った。2本目に失敗をしようもの、3本目の挑戦では見事に差し上げた。

この時点で1位となり、追われる立場となったクリーン&ジャーク競技では、125kgを申告するが1本目、2本目と連続で失敗してしまふ。他の選手が次々と成功していく中、後がなくなり

追い込まれた東野の最後の挑戦。失敗の許されないうちの場面でも勝負強さを見せた東野は、挙上を成功させる。このときの東野は、焦りはなく、どりあえず落ち着いてやろうと思った。思いのほか軽く上がったと振り返った。この結果、トータル229kgで、2位と3kgの差をつけて優勝を成し遂げ、見事に日本一に輝いた。

東野は去年のリベンジを果たせてうれしさと満足げに語った。また、今後についても、自分がやるべきことを地道に積み重ねていきたい」と頼もしく話してくれた。

ウエイトリフティングは、日々の努力が顕著に返ってくる競技である。今後も積み重ねた努力を結果につなげ、更なる記録を目指してもらいたい。

文/長岡篤志 (経済2・富島)

東野

第64回全日本学生ウエイトリフティング選手権大会
4月27日～29日 はびきのコロセラム

阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦、こしはらく優勝から遠ざかっていた大商大は5季ぶりの66回目の優勝を果たした。主将の坪久田和也(経営4・神港学園神港)は勝てるチームになるためにどうすればいいのかを何度も話し合ったと言った。そして、練習を取り組み、チームとして力をつけてきた。

初戦の阪南大学戦で71と大差をつけて勝利すると、その後も順調に勝利を重ねた。さらに宿敵関西大学人間健康学部との試合では、先発の松田紳吾(商4・神戸村野工業)が好投を見せ、相手を圧倒する。打線の援護

準硬式野球部
春季リーグ戦

も残り210で白星勝ち取った。そして最終結果は9勝2敗1分となり、念願の優勝旗を手にした大商大は関西地区大学準硬式野球選手権大会へと駒を進めた。最多勝利投手・最優秀選手賞・ベストナイン(投手)と3つの賞を獲得した松田は、みんなに助けてもらってばかりだったが、持ち味の粘りのある投球ができたこと、リーグ戦を振り返った。また坪久田は、「全員が自分の役割を果たすことができた。みんなが勝ち取った優勝だと笑みを浮かべた。



「第34回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」	
56kg級 優勝	東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)
62kg級 準優勝	吉崎 優太郎(公共経営3・明桜館)
77kg級 優勝	一瀬 駿(経済3・星槎国際)
85kg級 3位	吉川 敦啓(公共1・須磨友が丘)
優秀選手賞	東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)
最優秀新人選手賞	吉川 敦啓(公共1・須磨友が丘)
「第64回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」	
56kg級 優勝	東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)
「第78回全日本ウエイトリフティング選手権大会」	
56kg級 7位	東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)
「第57回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会」	
団体部 4位	
56kg級 優勝	東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)
62kg級 優勝	脇田 勇平(公共経営4・薩摩中央)
77kg級 準優勝	一瀬 駿(経済3・星槎国際)

関西地区選手権

迎えた関西地区選手権大会。上位3チームが全日本大学準硬式野球選手権大会の出場権を獲得できるこの大会で、大商大

この勢いで勝ち進み、大商大だったが、準決勝では大阪経済大学に敗れ、この大会での全日本選手権出場権を賭けた3位決定戦でも、龍谷大学に力及ばず敗北。ベスト4という結果で幕を閉じた。その後も、全日本選手権への最後の出場権を賭けた、関西地区大学準硬式野球トーナメント大会のプレーオフでも、甲南大学に敗れ、出場を逃してしまつた。

「阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦」	
最多勝利投手	松田 紳吾(商4・神戸村野工業)
最優秀選手賞	松田 紳吾(商4・神戸村野工業)
本塁打王	中村 雅希(経営3・大商大)
ベストナイン(投手)	松田 紳吾(商4・神戸村野工業)
ベストナイン(捕手)	池上 正樹(経済2・三本松)
ベストナイン(外野手)	山田 慎士(公共経営4・市立和歌山)
「第70回関西地区大学準硬式野球選手権大会」	
	ベスト4



関西地区ベスト4



春季リーグ戦 V66

<9勝2敗1分>

チーム一丸

第70回関西地区大学準硬式野球選手権大会
5月14日～17日 大阪シティ信用金庫スタジアム

阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦
3月3日～4月27日 久宝寺緑地公園野球場他

SHODAI SPORTS
大阪商業大学
学生生活課 課外活動支援室
発行編集
印刷 共同精版印刷株式会社

我楽多

▼自分で取材した内容をもち、原稿を書き上げることは初めての経験でした。難しいことも多く、先輩たちに助けられることが多かったけれど、なんと最後まで記事を書き終らせることができました。自分で考えて作った記事が形に残り、たくさんの人に読んでいただけることに、とてもやりがいを感じています。(安井)

▼初めての商大スポーツとなった今号では、フィールドホッケー部を担当しました。新聞などを書いたことがなかったため、初めは少し怖かったです。先輩たちが丁寧に教えてくれたおかげで、なんとか書くことができました。先輩から学んだことを生かして、今後も頑張っていきたいです。(白)

▼新しく広報部に配属となり、初めての商大スポーツでは、ボクシング部を担当することになりました。想像していた通り、取材や紙面作りは、とても難しく、今まで新聞を作り上げてきた先輩たちのすごさを実感しました。私も先輩のような紙面を作れるように、今後先輩たちから学んだことを経験して学んでいきたいです。(東)

▼今号から広報部として商大スポーツに携わることになり、ウエイトリフティング部を担当させていただきます。自分の考えていることが形になっていくことにとても楽しさを感じました。また、初めての道に鳥肌が立つほど感動しました。今後ウエイトリフティング部の魅力を少しでも皆さんに伝えられるように頑張りたいです。(長岡)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校